

第4回 向陽学府小中一体校開校準備委員会 会議概要

1	開催日時	令和5年3月20日(月)
2	開催場所	磐田市役所西庁舎 3階 302・303 会議室
3	出席者(向陽学府小中一体校開校準備委員)	
	学識経験者	元校長 前向笠地区長
	地区代表	向笠地区長 大藤地区長 岩田地区長
	保護者代表	向陽中学校PTA代表 向笠小学校PTA代表 大藤小学校PTA代表 岩田小学校PTA代表 大藤こども園PTA代表 向笠幼稚園PTA代表 岩田こども園保護者代表
	学校代表	向陽中学校長 大藤小学校長 向笠小学校長 岩田小学校長
4	出席職員	教育長 教育総務課長
5	事務局	学府一体校推進室

会議概要

1 教育長挨拶

本日は、お忙しい中また、年度末の慌ただしい中お越しいただきましてありがとうございます。今回は、本年度最後の準備委員会となりました。役職の交代で今回をもって次の方にバトンタッチされる方もいらっしゃると思います。それぞれの立場でこの会に参加をいただき、新たな学校づくり検討会から御尽力いただいている方もいます。長い間ありがとうございました。

皆さんの御尽力に感謝申し上げますとともに、令和8年の開校に向けて引き続きお力をお貸しいただければ、大変ありがたいと思っております。よろしくお願いいたします。

先週、幼稚園、こども園の卒園式、小中学校の卒業式がありました。私も3つの式に参加をさせていただきました。子どもたちは、この3年間新型コロナウイルス感染症の関係でマスク等いろいろな制約や制限がある中で学校生活や家庭生活を経験してきました。2か月くらいの休校も経験しました。卒業式では、「コロナに負けるな」という合い言葉のもと、「授業や学校行事等でいろいろ工夫してきた」、「友達がいたから乗り越えることが

できた」、「みんなで力を合わせて取り組んできた」などのメッセージをいただいて本当に心が熱くなったような気がしました。子どもたちのしなやかさやたくましさを強く感じた時間帯でした。私自身もコロナが始まったときに学校現場にいましたが、子どもたちが来ない学校を経験し、学校の存在意義を改めて考えさせられました。何のための学校かと考えると、子どもたちの学校であるということを再認識しました。平たく言えば、子ども第一だと思います。今まで磐田市が大切にしてきた「子ども同士のつながり」「地域の皆様とのつながり」「教職員同士のつながり」それを基盤にした「人と人とのつながり」が大事だと改めて感じました。

本日の開校準備委員会では、前回から検討しております校名の選定方法を決定していただきたいと思います。本日もよろしく願いいたします。

2 議事

(委員長)

現在、市議会で令和5年度の向陽学府新たな学校づくり整備事業の予算案も出され、審議をされている。

令和元年5月29日、3地区そろって一体校の要望書を出した。それから3年経ち、開校まであと3年となった。今日も校名についてやっていくが、アンケートの検討については、いろいろな御意見をいただく中で詳細を決定できればと思う。

(事務局)

配布した資料について説明する。

資料1-1は、説明と要領、アンケートが表裏で一枚におさまる形式。

資料1-2は、内容は、1-1と同じでだが、アンケートのみ別紙にした形式。

アンケートの内容を検討する際に、地域の方が回答するときどちらの方が回答しやすいか検討いただければと思う。

資料1-3は、向陽学府内小中学校児童生徒に配付するもので、小学4年生から中学3年生用と小学1年生から小学3年生までのもの。

回答時期が入学後すぐになる1年生のアンケートをどうしたらよいかご意見をいただきたい。

資料2は、来年度のスケジュールについてまとめたもの。

なお、スケジュールについては、今後、準備委員会の進捗状況により変更する可能性がある。

(委員長)

校名案アンケートについて御意見ある方は、よろしく願いします。

(委員)

学校アンケートについては、現在ICTアシスタントをお願いしている。可能であれば、グーグルフォームでのアンケートにしていか伺う。

(事務局)

1人1台端末の関係だと思いますが、もちろん可能です。

(委員)

1年生のアンケートについてですが、5月にやるとするとちょうど平仮名の学習をしているのとiPadも登録の関係上5月に操作するとなると難しいかと思う。

(委員長)

1年生のアンケートの実施についても御意見あればお願いします。

(委員)

決定方法のところに、決定時期を予定でいいので書いた方がいいと思う。また、資料1-3の児童生徒用アンケートの新しい校名を書く欄に読み仮名を書けるようにしてもらいたい。

(委員)

世帯の方のアンケートですが、校名のことだけでなく一体校についての意見や質問について書く欄を入れたらどうかと思う。

(委員長)

アンケートの対象は、世帯アンケートであるというのがポイントだと思う。それにプラス小中学生にも行う。配布と回収が自治会経由で地域づくり協議会の理解が得られるかどうか。自治会に非加入の世帯にもアンケートが配布できるのかどうか。先生方はアンケートに参加しないでもいいかどうか。事務局でこたえられることがあったら答えていただきたいし、私が言ったことに意見がありましたら地区長からも願います。

(事務局)

配付、回収方法については、自治会の協力を得られないと難しいかと思う。どのような方法で行ったらよいか教えていただければと思う。それから、自治会に加入していない世帯への配慮については、皆さんからアドバイスもいただきたいと思うが、市の他部署で把握できるようであれば非加入世帯にも配付したいと考えている。先生方については、ずっと向陽学府内の小中学校に勤務するわけではないので、基本、地域の皆さんと子どもたちの声を大切にしていきたいと考えている。もし、先生方も入れた方がよいという意見があれば、対応することは可能。

(委員)

自治会回収の方法ですが、1例を言うと防災の関係で今年からQRコードでの回答と紙での回答と2通りで行った。配付はよかったが、回収が各自治会で把握できなかった。特にQRコードは、出し放しで困った。便利でよいが、回収率を言われてしまうと催促もできないし、出した人も把握できないのではないかと思う。

(委員)

資料1-1と資料1-2を比べたときにその違いは、アンケートを提出すると何も残らないか、表紙のパス図が残るかの違い。手元に残った方が見返すことができるから資

料1-2のような形式の方がいいと思う。アンケートは、回収率を設定する必要はないから当然無記名であってもおかしくないと思う。何のために名前を書くのか。誰かがチェックするのか。誰がどんなことを書いたのか事前にチェックするのか。名前を書くことに違和感がある。配付については、定例会や理事会の時に全戸配布の物をお願いすることがある。交流センターに事前に連絡すれば配布してもらえるのではないかな。回収については、交流センターにポストを置いてそこに投函してもらえばいいと思う。どうしても出しに行けない人だけが組長や自治会長にお願いすればいいのではないかなと思う。

(委員)

やはり回収が気になります。防災のアンケートも同じように紙とQRコードで回答するようにしたが、答えたかわからない状態で回答率が50%を切ってしまった。もう1回やり直して100%になった。QRコードでやるのは賛成だけどコード番号がわかるようにして一人1回、回答できるように考えてもらいたいと思う。また、紙で提出する場合、名前を書くことになるので全員封筒に入れてもらわないといけない。

(委員長)

記名の必要性については、個人情報だから誰かに見られるのはよくない。前回の準備委員会のときに誰でも書いていいという雰囲気があったが、世帯アンケートのような形になると、ある程度配付先が決まってくるので、自治会名と区名くらい書いていただいて名前は書かなくてもいいのではないかなと感じている。アンケートなので回収率を無理に高めたり、提出させたりするような手法はよくないと思うので、受け取った側の判断に委ねることが大切だと思う。

(委員)

学校でもアンケートをとるが、子どもが回答したらそれで親は回答できないのか。また中学生は記名させるのか。

(事務局)

子どものアンケートは世帯アンケートとは別。中学生と保護者は別回答となる。

これまでの話の流れだと、記名はしてもしなくてもいいのではないかなと思う。

(委員)

子どもが3人いる場合は、3枚。親1枚、合計4枚という考え方でよいか。

(事務局)

児童生徒は、学校配布で児童生徒数分なので、3人いれば3枚。世帯1枚で合計4枚となる。

(委員)

回答方法がいくつかあると、それぞれに回答できてしまう。アンケート用紙だけにして閲覧板で回収した方がスムーズだと思う。

(委員)

回答番号を決めてその番号を書いてもらうようにすれば、一人1回答になるのではな

いか。

(事務局)

記名にした経緯については、いろいろな回答方法があると、それぞれの回答方法で出してきたり用紙をコピーして出してきたりする人がいるかもしれないので、記名することによって、それができなくなるということで記名欄を設けた。1世帯1回答として、できるだけ個人情報を出さないようにすることを考えるとアンケート用紙に通し番号を振ってしまい用紙以外で回答する場合には、必ずアンケートに記載の番号を入れるようにすれば重複はないかと思う。

(委員)

無記名というのは、この回答者の氏名を一切書かなくてもいいと判断してよろしいか。

(事務局)

その通りです。自治会名や班等も書く必要はありません。

(委員長)

回収は、班長さんに出せる人は、出してもらう。交流センターも回収場所に入れてもらうというのはどうか。

(事務局)

回収場所に交流センターも入れておきます。

(委員)

1年生にアンケートさせますか。

(委員)

名前を判断するのは難しいのではないか。入学して間もない子どもたちの意識は、まだ幼稚園、こども園、保育園にあり、自分の通っていた園の名前に偏ってしまう可能性があり、意見を聞くのは難しいと思う。

(委員)

子どもたちは、必ず回答しなければいけないのか。

(事務局)

前回の準備委員会で子どもたちにも意見を聞いた方がいいという意見があったので、アンケートを作成した。ただ強制はできないと思っている。無回答でも仕方ないかと思う。

(委員長)

学校で実施するというだけでよいか。

(事務局)

無理やり書かせることは考えていません。子どもがどう思っているのか意識を見たいと思う。

(委員)

回答フォームで無回答でも回答が挙がるようにする方法があるが、それでも良いか。

(事務局)

それでも問題はない。

(委員)

小学校でアンケートをやるのか。低学年は多分無理。例えば家に帰って誰かに聞く、家族と話し合う、そういう時間が必要かと思っている。学校で書くよりも、もらったプリントを家に持ち帰って、次の日に提出するという形をとるという方法でよいかと思います。

(事務局)

こちらの想定としては、学校で子どもたちの考えを聞くつもりで今回提案している。家族で話し合って回答するということについては、世帯で一回答できるので、そちらで向陽学府のことを話すよい機会なので、子どもと親と話し合って回答していただければよいと思う。

(委員長)

1年生もやるということでよいか。3年以下はやらないというのではなくてみんな一応はやるという方向でよいか。

(委員)

小学校1年生の5月、6月で平仮名しか練習していない時に、ふりがなはふってあるが、意味が分からないのではないかと思う。グーグルフォームで一斉送信して、おうちの人と考えてくださいと言えば、一緒に考えるよい機会だと思うし、紙を分けて書かせるのは現実的ではないと思う。

(委員)

子どものアンケートは、あくまでも子どもの意見ということで、親の考えが反映されないような形で意見集約するという方向性だったと思う。学校でアンケートということになると、1年生は多分答えられないと思う。

(委員)

1年生は、そもそも向陽地区も分からないし、新小学校名と言っても何を言っているのか分からないと思う。1年生へのアンケートは、現実的ではないと思う。

(委員)

1年生と5年生になるが、5年生も分かるかどうか。

(委員)

1年生と4年生になるが、上の子は学校で話をしてくださっているのでわかっているとは思いますが、意見を出すのは難しいかもしれない。

(委員長)

世帯アンケートとは別に子どもたちのアンケートを取るわけですが、子どもたちの意見も校名案を決める参考にするのかどうなのか。世帯アンケートと一緒にしていいかどうかにも気になっている。個人的には、別々に考えればよいと思う。1年生でやれるとしたらどのような方法があるか。

(委員)

1年生全体に投げかけて手を挙げさせて、何か言いたいことがある子については、発言させてそれを書き留めるくらいかと思う。

(委員)

やらないでいい。アンケートへの記入は、低学年は無くてもいいと思う。

(委員長)

高学年以上でやるということでもいいか。事務局は、どうか。

(事務局)

一体校になるということ小学生なりに少しはわかってもらいたいと思い提案した。学校の方でも子どもたちに対して小中一体校のことを話してくださっていると思うので、アンケートも無理に書きなさいということでもないと思うし、3月まで幼稚園、1年生、2年生だった子がどれくらい書けるのかという思いもある。高学年には、お願いするが強制ではなく、わからないという項目も入れようと思っている。少しでも令和8年4月には、開校するという子どもたちなりに理解できればと思う。低学年の子どもたちに無理にアンケートに答えてもらわなくてもいいと思う。

(委員)

自治会に入っていない人はどんな人か。アンケートへの回答は必要か。

(委員長)

向笠地区でいうと、400世帯くらい入っていない。

(事務局)

手段があるかどうかはわからないが、配付できるなら配付していきたいと思う。

(委員長)

この先のことを事務局から説明していただく。

(事務局)

今回いただいた意見を基に、アンケートの最終版を作って5月に配付、5月末日には回収していきたいと考えている。

5月の準備委員会で改めてアンケート案を検討する時間はありませんので、今回の話し合いをもう一度整理してアンケート案をこちらで考える。案ができれば、今年度の準備委員の皆様にもメール送信して御意見をいただきたいと思っている。本日の皆さんの意見を聞く限り、概ね1-2のような形式で作成することになる。内容については、回収場所に交流センターを入れる、校名の最終決定時期を入れる、回答者氏名欄を削除して一体校のことについて記入できる欄を作るということについて御意見をいただきましたので、それらを踏まえてアンケートを作成する。またアンケートには通し番号を振って配布していきたいと思う。

(委員)

中学生で向陽地区には住んでいるけど、向陽中に通っていない生徒は、世帯でのカウントでよいか。

(事務局)

そういう中学生は、世帯の方で御意見をいただくことになります。親子で話し合っただけだと思います。

4 連絡事項

(事務局)

(1) 次回の開催日時について

今回は5月中旬頃の午後6時30分から午後8時までの開催を予定している。

日程が決まりましたら改めて連絡させていただきます。

(2) 役職交代による委員の交代について

報告用紙を3月27日までに事務局に提出するようにお願いをしたが、すでに提出をしていただいた方もいらっしゃる。御協力に感謝する。未提出の方は、期日までに提出をお願いする。

前回は申し上げたが、委員を交代する際には、後任の方にこれまでの話合いの経緯を確実に伝えてほしい。

(3) 大藤小のプールの活用についての説明会についてですが、2月16日大藤小保護者に説明をさせていただいた。説明会後から本日までにこのことについての御意見は伺っていない。また、岩田小、向笠小については、4月のPTA総会のところでお時間をいただいて同じ内容で説明する予定。向笠幼稚園もPTA総会時に説明させていただく予定。大藤こども園は、お時間を取れないということでしたので、園長先生が説明をして御意見があれば、それを事務局に知らせていただける。

岩田こども園は、必要であれば、会場をお貸しいただけるということでしたので、園と保護者会で相談をしていただくことになっている。

(4) 開校準備だよりの発行について

3月15日付自治会回覧で配布済み。

各小中学校と向笠幼稚園、大藤こども園には児童生徒、幼児数で配布済み。岩田こども園については、園に30部渡して必要な方が持参できるようにしてもらっている。

なお第3回議事録と共にホームページに掲載している。

本日は、お忙しい中ありがとうございました。

また、この会で委員の任務を解かれる方につきましては、長い方で3年間、短い方も1年間、向陽学府小中一体校整備に係る検討会等に御参加いただきありがとうございました。開校までには、まだ3年ありますので、地域や学校の方で御支援と御協力をいただきたく、今後もよろしく願いいたします。